



広島大学公開講座

2023（後期）



100年後にも世界で光り輝く大学へ
漕ぎ出せ 混沌の海に
走れ 創造の彼方へ



広島大学 学術・社会連携室 地域連携部

後援：広島県教育委員会・広島市教育委員会・東広島市教育委員会

目次

2023年度後期 申込・受講について	1
1.危機に立つ民主制	9
10/13(金) 10/20(金) 10/27(金) 11/10(金) 11/24(金) 12/1(金) 12/8(金) 12/15(金) 18:30~19:45	
2.「循環」と生命科学：持続的な社会へのヒントを探る	11
11/11(土) 10:05~11:00 11:10~12:05 13:15~14:10 14:20~15:15 15:25~16:20	
3.バイオテクノロジーってなあに？	13
「バイオ（生物）」と「テクノロジー（技術）」の合成語です。	
11/18(土) 13:00~14:15 14:30~15:45 16:00~17:30	
4.仏教の世界宗教化と地域文化との交流 ― 仏と神のサミット	15
11/25(土) 13:30~15:00 15:10~16:00	
5.古文書から読み取る西洋史	17
12/2(土) 12/9(土) 12/16(土) 13:30~14:30	
6.グローバル社会・大学・地域を結ぶ ～異文化との接触に備えて～ (英語・日本語使用) Connecting Global Society, University, and Local Society ~Preparing Yourself For Intercultural Contact (English & Japanese)	18
12/8(金) 12:50~14:20 14:35~16:05	
7.イノベティブ企業家	20
12/12(火) 12/19(火) 1/9(火) 1/23(火) 12:50~14:20	
8.つくと食べるをつなぐサイエンス ― 分子視点のアプローチ ―	22
12/16(土) 11:00~12:00 13:00~14:00 14:05~15:05 15:10~16:10	
9.災害医療の現状と課題 ― 広島大学の活動 ―	24
1/25(木) 2/1(木) 2/8(木) 19:00~20:30	
■ 広島大学公開講座2023（後期）カレンダー	26
■ 広島大学公開講座2023（後期）実施場所	28

2023年度後期 申込・受講について

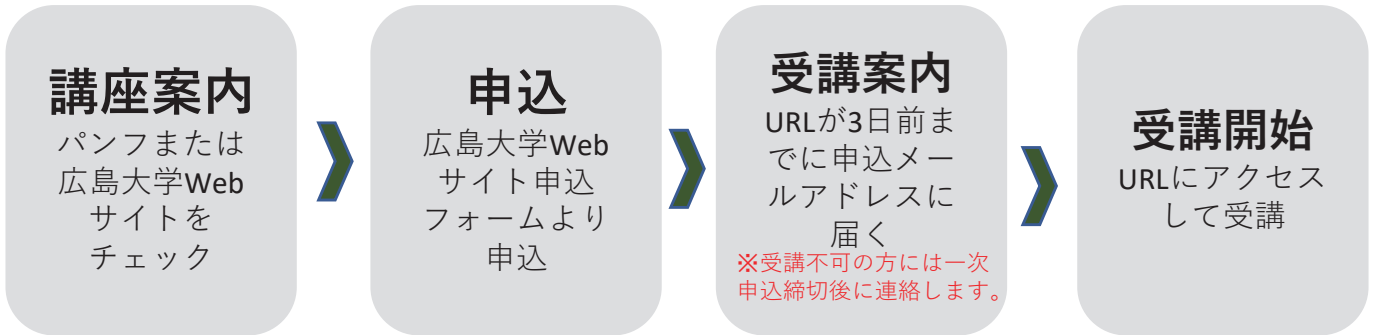
開講講座一覧

広島大学公開講座2023年度(後期)

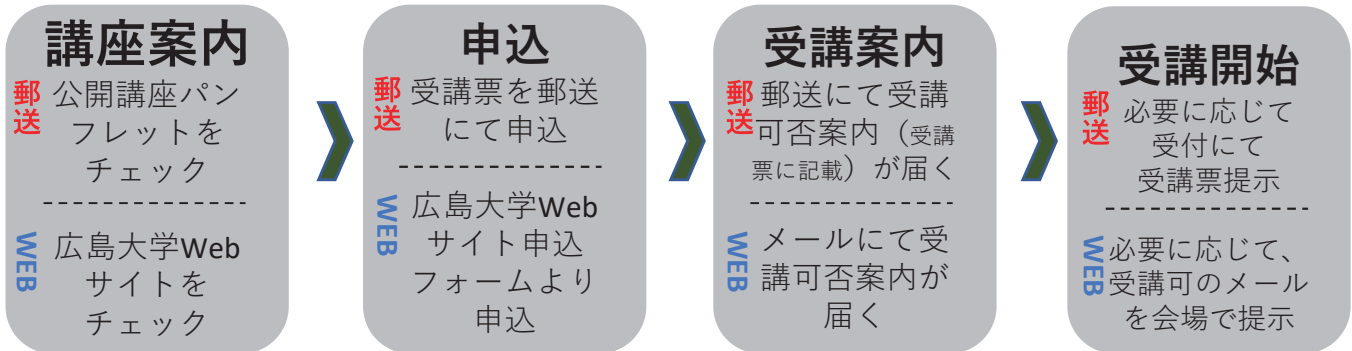
項番	講座名	形式	募集定員	料金	授業開始日	申込期限	二次締切日	場 所
1	危機に立つ民主制	対面 オンライン	50 100	無料	10/13(金)	9/28(木)	10/6(金)	対面: 広島大学東千田キャンパス L棟5階 SENDA LAB 多目的スペース オンライン: Zoom
2	「循環」と生命科学: 持続的な社会への ヒントを探る	対面	100	無料	11/11(土)	9/28(木)	11/3(金)	広島大学東千田キャンパス S棟207講義室
3	バイオテクノロジーってなあに? 「バイオ(生物)」と「テクノロジー(技術)」の 合成語です。	対面	120	無料	11/18(土)	9/28(木)	11/10(金)	サテライトキャンパスひろしま (広島県民文化センター 5階)
4	仏教の世界宗教化と地域文化との交流 —— 仏と神のサミット	対面 オンライン	30 100	無料	11/25(土)	9/28(木)	11/17(金)	対面: 広島大学東千田キャンパス L棟5階 SENDA LAB 多目的スペース オンライン: Zoom
5	古文書から読み取る西洋史	対面	100	無料	12/2(土)	9/28(木)	11/24(金)	サテライトキャンパスひろしま (広島県民文化センター 5階)
6	グローバル社会・大学・地域を結ぶ～異文 化との接触に備えて～(英語・日本語使用) Connecting Global Society, University, and Local Society ~Preparing Yourself For Intercultural Contact (English & Japanese)	対面	15	無料	12/8(金)	9/28(木)	12/1(金)	広島大学東広島キャンパス ミライクリエ 1階 多目的スペース
7	イノベティブ企業家	オンライン	100	無料	12/12(火)	12/5(火)		Teams
8	つくと食べるをつなぐサイエンス — 分子視点のアプローチ —	対面	120	無料	12/16(土)	9/28(木)	12/8(金)	広島大学東広島キャンパス 生物生産学部C201講義室
9	災害医療の現状と課題 — 広島大学の活動 —	対面	100	無料	1/25(木)	9/28(木)	1/18(木)	広島大学霞キャンパス 放射線災害医療研修棟 4階 401室

◆お申込から受講までの流れ
申込方法は講座により異なります。

①オンライン講座 ※各講座により申込締切日が異なります。



②対面講座 ※一次申込締切日9/28（木） 定員に達してなければ引き続き申し込めます。



◆安全安心に対面講座を受講して頂くために◆

お願い

- ・ご来場の際のマスク着用は個人の判断にお任せしますが、せき・くしゃみ等の症状がある場合は、不織布マスクを着用ください。
- ・発熱や体調不良のある方は、参加をお控えください。
- ・入室、退室時の手指消毒にご協力ください。
- ・会場では人と人との距離の確保にご協力ください。

マスク着用



1. Webでの申込について

オンライン講座、対面講座ともWebから申込できます。
オンライン講座はWeb申込のみの受付となります。

(1) 広島大学公開講座のページから申込フォームを開いてください。

【申込フォームのアクセス方法】

- ① 広島大学公式ウェブサイト <https://www.hiroshima-u.ac.jp> を開いて、「社会・産学連携」をクリックしてください。



- ② 「社会・産学連携」のページのメニューから「地域連携」をクリックし、さらに、そのページのメニューから「広島大学公開講座」をクリックしてください。



③「広島大学公開講座」のページにある案内をクリックすると、申込についての詳細な説明のページが開きます。

(2) オンライン申込フォームに必要事項を入力し、送信ボタンをクリックしてください。

【申込手続きの注意事項】

・送信ボタンをクリックすると、しばらくして登録したメールアドレスに、申込内容が送られてきます。送られてきたメールは、申込の控えとなりますので、講座終了まで保管してください。

もし、送られてこない場合は、迷惑メールのフォルダを確認してください。

メールを受信していない場合は、メールアドレスの誤入力の可能性がありますので、再度申込をお願いします。

・申込期限終了後にメールにて受講可否をお知らせします。有料講座については、受講可否及び、受講料振込手続きの説明を記載したメールをお送りします。この受講可否のメールは対面講座においては受講票に代わるものですので、保存をお願いします。講座当日の受付時に受講可否のメール画面、もしくは受講可否のメールを印刷したものの提示を求めることがあります。

※受講料振込手続きのメールは、お申込みいただいた講座ごとにお送りしますが、複数の有料講座を申し込まれた方は、合計金額を一括で振込をお願いします。（受講する講座は、申込確認メールなどでご確認ください。振込手数料は申込者負担となります）

(3) 講義開始の3日前までに、担当者から、受講に必要なウェブ会議システム（Zoomなど）のURLが届きます。

(4) 当日は、メールに書いてあるURLからウェブ会議システム（Zoomなど）を開いて、受講してください。

※スマートフォン、パソコンなどでのZoomの操作に関するお問い合わせには、対応できかねますので、ご了承ください。

(5) 著作権の関係から録画による講義内容の配信や資料等の再配布はいたしません。

2. 郵送での申込について 対面講座のみ受付ます。

(1) 広島大学 学術・社会連携室 公開講座担当宛に次の①②を郵送してください。

①申込書(太枠内(黄色部分)に記入)

②返信用封筒1枚(長形3号12cm×23.5cm、住所・氏名・郵便番号を記入し、84円切手を添付)

一次募集締切日 2023年9月28日(木) 必着

- 一次締切時点で定員を超えた講座は、抽選を行います。先着順ではありません。
- 申込状況は、一次締切日以降、広島大学公開講座のWebサイトに掲載致します。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/ccc/kokaikoza>

(2) 受講可否のお知らせ

一次募集締切の結果は、10月2日の週に申込者全員へ受講票(下図参照)の送付により受講可否をご連絡致します。

なお、講座当日の受付時に、この受講票の提示を求めることがありますので、ご持参ください。

※赤字は大学で記載致します。

広島大学公開講座2023(後期)申込書 (対面講座) 郵送専用紙		受付番号	100
↓太枠内にご記入ください。			
○印	講座番号・講座名(無料講座)	講座別受講者番号	
	1. 危機に立つ民主制 (対面とオンライン)		
○	2. 「循環」と生命科学：持続的な社会へのヒントを探る (対面のみ)	15	←受講可 (講座番号がある)
	3. バイオテクノロジーってなあに? (対面のみ)		
○	4. 仏教の世界宗教化と地域文化との交流 ― 仏と神のサミット (対面とオンライン)	X	←受講不可 (X印がある)
	5. 古文書から読み取る西洋史 (対面のみ)		
	6. グローバル社会・大学・地域を結ぶ (対面のみ)		
	8. つくると食べるをつなぐサイエンス (対面のみ)		
	9. 災害医療の現状と課題 (対面のみ)		

→希望講座に○をして
お送り下さい。

ふりがな	性別	年齢
氏名	男・女	歳
ご連絡先		
電話番号	-	Email :

※お申込みに伴う個人情報、講座の出席確認、緊急連絡、大学から公開講座に関する案内及び調査統計に利用し、その他の目的には利用しません。

講座別受講者番号の付してある講座の受講者として認めます。

2023年 月 日

国立大学法人 広島大学 受付済

←印が押してあるものが
正式な受講票です。

3. 二次募集について

一次募集締切時点で定員に達していない講座は、引き続き先着順で申込を受け付けます。定員に達した日に多数の申込書が届いた場合は、その日の到着分で抽選を行います。

受講の可否は、随時申込時と同じ方法(郵送又はメール)にてお知らせいたします。なお、有料講座の場合は、受講料振込手続きのご案内を一緒にお送りします。

4.受講のキャンセル

下記の申込先へメールまたはお電話にてご連絡ください。有料講座で入金済の場合は、講座初日の前日（前日が休校日の場合は直前の業務日）の17時までにご連絡いただいた場合に限り、受講料を振込により返還いたします。ただし、振込手数料は申込者負担となります。

5.不測の事態が生じた場合

講師の急病等不測の事態が生じた場合、講師・内容の変更、日程の変更（延期）、開催中止とする場合があります。

また、自然災害による交通機関の混乱が予測される場合、講座を中止または延期することがあります。この場合、広島大学公開講座のWebサイトに「休講情報」を掲載するとともに、受講者の方へ個別に電話またはメールにてご連絡いたします。

なお、複数日の講座の場合は、全日程を中止とする場合があります。有料講座が全回中止となった場合は、受講料を振込により返還いたします。

6.注意事項

- 講義室変更、講師交代などがありましたら、広島大学公開講座のWebサイトに随時掲載します。
- 講座により、保険料等実費のご負担をお願いする事があります。
- 講座内容に関する問い合わせは、各講座ページ最下段の「講座内容に関する問い合わせ」へ（平日9:00～16:30）、申込に関するお問い合わせは、学術・社会連携室 公開講座担当へメールまたはお電話にてお願い致します。
- お申込みに伴う個人情報、講座の出席確認、緊急時の連絡、大学からの公開講座に関する案内等の送付及び調査統計に利用し、その他の目的には利用しません。
- 全講座、修了証書交付は行いません。

申込先

広島大学 学術・社会連携室 公開講座担当

〒739-8511 東広島市鏡山1-3-2 TEL 082-424-5691

E-mail chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp

Webサイト <https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/ccc/kokaikoza>



↓太枠内にご記入ください。

○印	講座番号・講座名 (無料講座)	講座別受講者番号
	1. 危機に立つ民主制 (対面とオンライン)	
	2. 「循環」と生命科学：持続的な社会へのヒントを探る (対面のみ)	
	3. バイオテクノロジーってなあに？ (対面のみ)	
	4. 仏教の世界宗教化と地域文化との交流 ―― 仏と神のサミット (対面とオンライン)	
	5. 古文書から読み取る西洋史 (対面のみ)	
	6. グローバル社会・大学・地域を結ぶ (対面のみ)	
	8. つくると食べるをつなぐサイエンス (対面のみ)	
	9. 災害医療の現状と課題 (対面のみ)	

ふりがな		性別	年齢
氏名		男・女	歳
ご連絡先	〒		
	電話番号	- -	Email :

※お申込みに伴う個人情報は、講座の出席確認、緊急連絡、大学から公開講座に関する案内及び調査統計に利用し、その他の目的には利用しません。

講座別受講者番号の付してある講座の受講者として認めます。

2023年 月 日 国立大学法人 広島大学

1

危機に立つ民主制

社会の分極化、先進国の低成長、権威主義体制からの挑戦、戦争、地球規模の諸問題の解決等、現代の民主制はその存在意義が問われる正念場に立たされています。この講座では、現代民主制の抱えるさまざまな問題を、いま、最も重要な課題から照らし出します。

会場	対面：広島大学 東千田キャンパス L棟5階 SENDA LAB 多目的スペース オンライン：Zoom
時間	18：30～19：45
定員	対面：50名 オンライン：100名
対象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切 9/28（木）※定員に達しなければ10/6（金）（必着）まで先着順で受付

おはなしの戦争

講師：人間社会科学研究科 教授 永山 博之

第1回
10/13（金）
18：30～19：45

わたしたちの頭の中は、ナラティブ（おはなし）からできあがっています。社会的意見や歴史認識もおはなしの産物です。おはなしがどのように思考を構成しているのか、それを使ってどのように人の考えや選挙、世論を左右する努力が行われているのかについてお話しします。

戦前昭和期の日中関係

講師：人間社会科学研究科 准教授 湯川 勇人

第2回
10/20（金）
18：30～19：45

現在の日中関係は、戦後最悪だといわれています。では、戦前にまで目を向けて日中関係はどのように展開してきたのか、日本人が中国をどのように見てきたのかを概観します。

カナダにおける間文化主義

講師：人間社会科学研究科 准教授 荒木 隆人

第3回
10/27（金）
18：30～19：45

社会にはさまざまな文化を持つ人々が暮らしています。多様性の存在をただ認めるだけでなく、多様性をお互いの豊かさにどのようにつなげていくことができるのか、カナダの試みを紹介します。

現代日本における選挙と政治参加

第4回

11/10 (金)

18:30~19:45

講師：人間社会科学研究科 助教 重村 壮平

日本の選挙における投票率の低迷は久しく問題にされてきました。なぜ日本で投票率が下がっているのか、日本人は政治に対してどのように関わってきたのか、それは変わりうるのかという問題について考えます。

デジタル権威主義の挑戦

第5回

11/24 (金)

18:30~19:45

講師：人間社会科学研究科 准教授 溝渕 正季

ネットはすでに社会インフラの一部になっています。これを利用して、権威主義体制は社会と人間のコントロールを効率的に行い、民主制よりも優れた統治が可能であると称しています。この問題の実態と、それが民主制に対してもつ意味について考えます。

原子力平和利用の国際政治

第6回

12/1 (金)

18:30~19:45

講師：平和センター 准教授 友次 晋介

グローバルサウスを含む国々を顧客に含む国際原子力ビジネスの世界において、中国とロシアの影響力が増大しています。またウクライナでの戦争は西側諸国の原子力利用に影を落としています。歴史的経緯を踏まえ、原子力利用をめぐる国際政治について考えます。

同盟と国内政治

第7回

12/8 (金)

18:30~19:45

講師：人間社会科学研究科 助教 柴田 佳祐

日本外交の基軸にあるのが日米同盟です。世界で最も成功した二国間同盟とすらいわれます。しかし同盟の利益とコストが何を意味するのか、日本は同盟にどう関わるのかについて、日本国内の議論は必ずしも一致していない部分があります。この問題を考えます。

ポピュリズムと戦後国際経済秩序

第8回

12/15 (金)

18:30~19:45

講師：人間社会科学研究科 准教授 長久 明日香

近年、先進民主主義国において問題となっているポピュリズムの台頭は、戦後の自由な経済秩序を大きく揺るがしています。こうした状況は、自由な貿易体制の下で発展してきた日本にどのような影響を与えるのかについて考えます。

講座内容に関する
お問い合わせ先

東千田地区支援室 総務・人事担当 山本 理恵

電話:082-542-7014

メール:senda-bk-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

2 「循環」と生命科学：持続的な社会へのヒントを探る

生命のしくみの中には、多くの「循環」が存在します。
この講座では、健康科学、化学、環境学、農学分野の生命科学のなかに存在する「循環」を紹介しながら、持続的な社会構築へのヒントを考えます。

会場	広島大学 東千田キャンパス S棟207講義室
時間	10:00～16:30（※講義前に本講座の趣旨説明（5分）を、全講義終了後に全体質疑（10分）を予定しています。）
定員	100名
対象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切 9/28（木） ※定員に達しなければ11/3（金）（必着）まで先着順で受付

生物の物質循環と相互作用に見る分子の役割

講師：統合生命科学研究科 准教授 根平 達夫

第1回
11/11（土）
10:05～11:00

細胞の中で原子の発生や消滅はなく、生命体は原子のつなぎ換えを巧みに利用して、完全な物質循環を達成しています。一方で、生きている細胞や個体は固有の物質も生み出しています。本講義では、それら自然界の産物にヒトがどう目を向けてきたかをお話しします。

食欲・睡眠・絆に関わる物質の体内循環

講師：統合生命科学研究科 教授 浮穴 和義

第2回
11/11（土）
11:10～12:05

“美味しいものを食べて、ぐっすり眠る。人類皆で仲よく平和に暮らす。”本講義では、このような人間社会の営みにおいて、私達の体の中で行われている物質循環についてお話しします。

大気中炭素循環の過去・現在と将来のヒト影響予測

講師：統合生命科学研究科 教授 石原 康宏

第3回
11/11（土）
13:15～14:10

大気中の炭素循環は産業革命期、戦後の高度経済成長期に大きく変化し、ヒトもその影響を受けています。本講義では、炭素循環の中でも、燃焼によって生じる多環芳香族炭化水素、大気中のマイクロプラスチックに焦点をあて、これらのヒト健康影響についてお話しします。

食糧生産に欠かせないリン資源の循環と植物による利用

講師：統合生命科学研究科 教授 和崎 淳

第4回
11/11 (土)
14:20~15:15

肥料3要素の一つであるリンは食糧生産に欠かせない一方で、その原料が枯渇しつつあることから、資源を上手に利用する方策を考える必要があります。本講義では、リンがどのように循環しているかや、植物がこれを吸収する仕組みを中心にお話しします。

植物の病気と土壌生物多様性の持続

講師：統合生命科学研究科 教授 久我 ゆかり

第5回
11/11 (土)
15:25~16:20

生物は他者と、また環境と相互作用することにより生存し、物質循環の線をつなぐ点を形成しています。本講義では、生物学的共生の定義を紹介し、土壌真菌による果樹の病気とその治療法を題材に、様々な土壌微生物とそれらのつながりについてお話しします。

講座内容に関する
お問い合わせ先

総合科学系支援室 学士課程担当 大久保 ひろみ

電話:082-424-7919

メール:souka-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

3 バイオテクノロジーってなあに？ 「バイオ（生物）」と「テクノロジー（技術）」の合成語です。

生物の持つさまざまな働きを上手に利用し、私たち人間の生活および健康や環境保全に役立たせようと、広島大学工学部では、1. 優れた生物機能を探し出す（探すバイオ）、2. 生物機能を詳しく解明する（知るバイオ）、3. 生物機能を育て上げて活用する（活用するバイオ）教育・研究を行っています。そうした私たち広島工学部のバイオテクノロジーを最新の情報を交えてわかりやすく紹介します。講義は30分で6つの話が聞けます。

会場	サテライトキャンパスひろしま（広島県民文化センター 5階）
時間	【1回】13:00～14:15 【2回】14:30～15:45 【3回】16:00～17:30
定員	120名
対象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切 9/28（木）※定員に達しなければ11/10（金）（必着）まで先着順で受付

探すバイオ／日本は微生物の資源国

講師：統合生命科学研究科 教授 加藤 純一

第1回（1）
11/18（土）

資源が乏しいと言われている日本ですが、こと微生物になるとその資源は非常に豊富な国です。その豊富な微生物資源から優れた機能を持つものをどのように見つけ出すか、ご紹介します。加えて、生物機能を活用して環境問題を解決する環境バイオテクノロジーについてもお話しします。

探すバイオ／眠れる微生物資源を起こす

講師：統合生命科学研究科 准教授 青井 議輝

第1回（2）
11/18（土）

近代的な微生物学は100年以上も続いています、それでも人間が培養できる微生物の種類は極限られ、1%未満に過ぎません。残りの99%以上の微生物の何割かを目覚めさせる（培養する）ことができれば、膨大な産業利用が可能になるのではないのでしょうか？果たして、眠れる彼らを起こすことができるのか？最新の知見をお話しします。

知るバイオ／酵母と老化・寿命の研究**講師：統合生命科学研究科 教授 水沼 正樹**第2回 (1)
11/18 (土)

パン酵母、酒造酵母、酵母菌は身近な、微細な単細胞生物です。酵母菌は単細胞微生物だけれどもなんとヒトと同じ仕組みを持っています。その酵母菌を利用すると老化や寿命の研究もできます。いったいどんな研究なんだろう？わかりやすくお話しします。

知るバイオ／免疫・アレルギーとノーベル賞**講師：統合生命科学研究科 教授 河本 正次**第2回 (2)
11/18 (土)

100年以上のノーベル生理学・医学賞の歴史の中で、実にその約2割もが「免疫」に関係する研究に与えられています。この講座ではノーベル賞のエピソードを楽しく交えつつ、新型インフルエンザやアレルギー、がん、リウマチ、エイズなど難病治療に役立つ免疫のしくみをわかりやすく解説するとともに、私達の花粉症撲滅を目指した「食べる乳酸菌ワクチン」の研究開発についてもお話しします。

活用するバイオ／石油をつくる微生物**講師：統合生命科学研究科 教授 秋 庸裕**第3回 (1)
11/18 (土)

石油は化石燃料。でも、バイオで再生可能資源である糖分から石油をつくれれば、石油も「再生可能資源」になります。オーランチオキトリウムやボトリオコッカスはバイオによる石油生産で主役を演じるであろう微生物です。今後の油脂発酵の可能性について、わかりやすくお話しします。

活用するバイオ／人新世のバイオテクノロジー**講師：統合生命科学研究科 准教授 廣田 隆一**第3回 (2)
11/18 (土)

「人新世」とは人類活動が地球に大きな影響を及ぼすようになった時代を意味する新しい時代区分です。私たちは今、この時代を生きていますが、資源・エネルギー枯渇、環境汚染、食糧問題など、人類自身が創り出した多くの課題に直面しています。バイオテクノロジーはこれらの問題解決にどう貢献できるのか？皆さんと考えたいと思います。

講座内容に関する
お問い合わせ先

理学系支援室(先端)学生支援担当 阿部 裕子

電話:082-424-7008

メール:sentan-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

4

仏教の世界宗教化と地域文化との交流 ——仏と神のサミット

日本には多くの神社、仏閣があり、神さま仏さまが祀られています。よく知られているようにその仏教に関わる部分では世界的な広がりを見せた仏教とともにインドや西域から伝えられたとされており、例えば仏教と中国の地域的な信仰が融合して日本へ伝えられるというような、他の地域の信仰や神さまが融合していることもあります。

この講座では、西域、中国そして日本の仏教の専門家4名をお招きして「仏教の世界宗教化と地域文化との交流」について図像という角度をまじえてご講演をいただき、神仏のお姿とその変容、地域文化との関係について理解を深めてきたいと思えます。

会場	対面：広島大学 東千田キャンパス L棟5階 SENDA LAB 多目的スペース オンライン：Zoom
時間	13：30～16：00
定員	対面：30名 オンライン：100名
対象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切 9/28（木） ※定員に達しなければ11/17（金）（必着）まで先着順で受付

阿弥陀如来の信仰・造形の伝播と日本での展開——広島県の「当麻曼荼羅」 「光明本尊」をめぐって

講師：名古屋市立大学 特任教授 吉田 一彦

第1回（1）
11/25（土）
13:30～14:00

阿弥陀如来への信仰は、太陽神アミターバ（アミターユス）の信仰として中央アジア～西北インドで生まれ、大乘仏教の段階で仏教に組み込まれました。それはやがて日本にも伝播し、奈良平安時代に流通しました。新仏教の時代になると、法然門流では当麻曼荼羅、親鸞門流では光明本尊が依用されるようになり、その現存事例が広島県内にもあります。ここでは両者を比較してその図像としての特質を考察します。

十王と地獄

講師：大学院人間社会科学研究科 教授 荒見 泰史

第1回 (2)
11/25 (土)
14:00~14:30

十王は十人の地獄の王のことで、地獄で初七日から四十九日を経て三年の喪が明けるまで順に罪人の罪を裁くと言われていました。地獄の考え方や中心的な地獄の神様はインドから来たのですが、十王の地獄での裁きや、その苦しみから免れるために供養の日に合わせてお祀りをするようになったのは10世紀の中国と言われていました。日本にも伝わるその信仰と日本での変容について、十王図、地獄の図とともに紹介していきたいと思います。

毘沙門天の東漸—地天と女神の融合

講師：愛知学院大学文学部 准教授 高橋 早紀子

第1回 (3)
11/25 (土)
14:30~15:00

毘沙門天は仏法を守護する護法神として、インド・西域・中国・日本といった諸地域で広く信仰されてきました。その東漸の過程で、地天に支えられた特殊な姿の毘沙門天像が成立します。こうした毘沙門天像を取り上げ、地天の姿がインド的な裸形から中国的な着装形へと変容し、さらに日本の女神と融合していく様相を示します。

ディスカッション

講師：第1回 (1) ~ (3) の講師 及び

第2回
11/25 (土)
15:10~16:00

広島大学敦煌学プロジェクト研究センター 顧問 白須 浄眞
大阪大谷大学 文学部 教授 貫名 譲

ここまでの講義の講師に加え、2名の専門家に参加いただいて、講義内容を踏まえたフリーディスカッションを行います。

講座内容に関する
お問い合わせ先

学術・社会連携室 地域連携部

電話:082-424-5691

メール:chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp

5

古文書から読み取る西洋史

西洋の歴史学の研究には西洋の古文書の解読が不可欠です。私たちが日々、どんな文書をどのように読み、どんな困難や喜びを味わっているかを紹介しつつ、古文書から読み取れる歴史についてお話ししたいと思います。

会場	サテライトキャンパスひろしま（広島県民文化センター 5階）
時間	13:00～14:30
定員	100名
対象	一般市民
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切 9/28（木）※定員に達しなければ11/24（金）（必着）まで先着順で受付

古代ギリシア語碑文を読む

第1回 講師：大学院人間社会科学研究科 教授 前野 弘志

12/2（土）

13:00～14:30

古代ギリシア人が石に刻んで残した碑文から、当時の政治・宗教・国家を読み解きます。

西欧中世文書を読む

第2回 講師：大学院人間社会科学研究科 准教授 足立 孝

12/9（土）

13:00～14:30

単葉文書、カルチュレール、会計記録、文書登録簿など、具体例を挙げながら、西欧中世文書そのものの歴史を概観します。

16世紀大航海時代におけるイングランドの海賊について考える

講師：大学院人間社会科学研究科 教授 井内 太郎

第3回

12/16（土）

13:00～14:30

16世紀はヨーロッパ大航海時代の幕開けとして知られているが、同時に海洋において海賊行為が頻発し、国際問題にまで発展することもあった。本講義では船乗りたちが書き残した遺言書や裁判記録を読み解きながら、当時のイングランドの海賊の実態、さらには船乗りたちの社会について考えてみる。

講座内容に関する
お問い合わせ先

人文社会科学系支援室（文） 担当 運営支援担当

電話:082-424-6602

メール:bun-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

6

グローバル社会・大学・地域を結ぶ ～異文化との接触に備えて～（英語・日本語使用）

Connecting Global Society, University, and Local Society ~Preparing Yourself For Intercultural Contact (English & Japanese)

本講座は、異文化との接触に備え、自身の文化について再考してみたい方、大学における国際教育を体験してみたい方に向けて英語・日本語を使用して講義を行います（スライドは英語と日本語で提示、英語・日本語で随時支援します）。カルチャーショックと逆カルチャーショック、留学における異文化適応と再適応、異文化間能力、異文化間リテラシー、文化的距離などについて、国際的研究も紹介しつつ講義します。また、世界各国の留学生が地域と協働で取り組む多文化共生のための実践プロジェクトについても紹介し、地域国際化について考えます（英語が話せなくても参加可能）。

会場	広島大学 東広島キャンパス ミライクリエ 1階 多目的スペース
時間	12:50～16:05
定員	15名
対象	異文化間理解・カルチャーショック・留学・地域国際化に興味のある方 Any person who has interest in intercultural understanding, culture shock, study abroad, and internationalization of local society
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切 9/28（木） ※定員に達しなければ12/1（金）（必着）まで先着順で受付

異文化との接触：カルチャーショック

Intercultural Contact: Culture Shock

講師：森戸国際高等教育学院 准教授 恒松 直美

第1回

12/8（金）

12:50～14:20

カルチャーショックと逆カルチャーショックとは？留学における異文化適応と再適応とは？言語メッセージと非言語メッセージ、言語の機能と意味などについて、事例も交えつつ様々な角度から捉え、異文化間理解について学びます（大学院生、留学生にも参加を募ります。状況により留学生とのグループワーク、ペアワークにも挑戦します）。

異文化間理解：文化的距離と文化の次元モデル

Intercultural Understanding: Cultural Distance and Cultural Dimensions

講師：森戸国際高等教育学院 准教授 恒松 直美

第2回

12/8 (金)

14:35~16:05

異文化間能力・異文化間リテラシーとは？文化的距離と文化の次元モデル、高文脈文化と低文脈文化、日本社会と行動様式など、異文化間理解に関する基礎的な知識と理論を学びます。留学生と地域社会との協働による実践プロジェクトも紹介しつつ、日本社会における異文化接触について留学生と共に考えます。

講座内容に関する
お問い合わせ先

広島大学 森戸国際高等教育学院 担当 恒松 直美

電話:082-424-6279

メール:ntsunema@hiroshima-u.ac.jp

広島大学 森戸国際高等教育学院とは

森戸国際高等教育学院は、広島大学の学内共同教育施設として学内外における日本語・日本文化を充実させるとともに、海外との学生交流を推進し、グローバルキャンパス化の推進を図ることを目的に、平成30年10月に（国際センター改組により）設置されました。

本公開講座は本年度で16年目を迎えます。グローバル化において日本の自動車産業をリードしてきたマツダ株式会社をはじめ、激動の半導体業界の成長企業であるローツエ株式会社、名刺管理をベースとしたベンチャービジネスのSansan株式会社、および東広島地元の酒造メーカーの加茂鶴の取り組みやイノベーション戦略の成功事例等を通じて、最先端な企業経営の実践と研究開発の最新動向について学びます。

会場	オンライン (Teams)
時間	12:50~14:20
定員	100名
対象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	Web
申込期限	12/5 (火)

(冒頭にガイダンス、全体概要と開講の主旨説明を行います。)

DXサービス開発における技術戦略論

第1回

12/12 (火)

12:50~14:20

講師：先進理工系科学研究科 特任教授 伊藤 孝夫
Sansan株式会社共同創業者 取締役 COO 富岡 圭

ベンチャー企業として世界初の名刺をベースとした営業DXサービスを生み出し、そのグローバル展開を目指している経営者が、企業経営とITの関係、市場の創造とマーケティング戦略を説明します。

マツダの技術開発と企業経営の歴史

第2回

12/19 (火)

12:50~14:20

講師：マツダ株式会社 経営戦略本部
カーボンニュートラル・資源循環戦略部長 木下 浩志

100年に一度の大変革期にある自動車産業における、競争力の源泉となる技術戦略を概説します。マツダを支える「SKYACTIV TECHNOLOGY」を中心に、経営環境の変遷を交えた開発姿勢・哲学の再設定と、ビジョンに基づいた挑戦の具体事例を通じて、技術の選択と集中の考え方や、マネジメント手法を紹介します。

激動の半導体業界とローツエのイノベーション戦略**講師：ローツエ株式会社 代表取締役 社長 藤代 祥之**

第3回

1/9 (火)

12:50~14:20

半導体不足、経済安全保障、台湾ファウンドリの熊本誘致など、日々ニュースを賑わしている半導体。そんな変化の激しい半導体業界の特性や現状と、その中で成長する当社のイノベーション戦略を紹介します。

酒造の技術戦略とものづくり：賀茂鶴の事例**講師：賀茂鶴酒造(株) 常務取締役製造本部長 山岡 洋**

第4回

1/23 (火)

12:50~14:20

西条で酒造りが発展した背景に触れながら、伝統を活かすための地域に根差した酒造りについて解説します。

**講座内容に関する
お問い合わせ先****学術・社会連携室 学術社会連携支援グループ (VBL)****電話:082-424-7118****メール:vbl@hiroshima-u.ac.jp**

8

つくと食べるをつなぐサイエンス —分子視点のアプローチ—

食料をつかって食べること、これは生物生産学研究の重要なテーマです。生物生産学研究は、分子から環境に至るまで多様な視点で進められています。さらに、対象とする生き物は、微生物から植物、動物と多岐にわたります。本講座では、分子の視点から生物生産学研究の一端を垣間見ることができます。

会場	広島大学 東広島キャンパス 生物生産学部C201講義室
時間	11:00～16:10
定員	120名
対象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切 9/28 (木) ※定員に達しなければ12/8 (金) (必着) まで先着順で受付

生物生産学概要と微生物学研究

講師：生物生産学部 教授 三本木 至宏

第1回

12/16 (土)

11:00～12:00

広島大学生物生産学部で行われている数々の研究を「食料をつかって食べる」という観点から俯瞰できます。さらに、演者が微生物を用いて最近行った地元食品企業との産学連携共同研究の内容を知ることができます。

植物の形づくりの研究

講師：生物生産学部 准教授 田中 若奈

第2回

12/16 (土)

13:00～14:00

植物には、成長の過程で葉を作ったり花を咲かせたりと様々な形を変える素晴らしい形づくりのしくみが備わっています。その形づくりのしくみの詳細と、身近な作物生産との関連について知ることができます。

食とアレルギー

講師：生物生産学部 教授 中江 進

第3回
12/16 (土)
14:05~15:05

日本人の二人に一人は何らかのアレルギー疾患を患っていると言われています。患者数の増加と低年齢化が指摘されて久しい現代病の一つですが、根治が難しい病気です。本講演で、食べ物に対するアレルギー（食物アレルギー）がどのように発症するのかを理解することができます。

野生動物の世界をDNAで観る

講師：生物生産学部 教授 西堀 正英

第4回
12/16 (土)
15:10~16:10

野生動物、とりわけジビエの対象とされるシカ、イノシシ、クマなどによる、私たちの生活への被害が年々拡大しています。また、宮島のシカはどこから来たのでしょうか。こうした野生動物による被害を食い止める新たな方法やその生息および生態について、遺伝物質であるDNAを用いた最新の研究を概観することができます。

講座内容に関する
お問い合わせ先

広島大学生物生産学部 担当 学士課担当

電話:082-424-7915

メール:sei-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

9 災害医療の現状と課題 — 広島大学の活動 —

我が国は近年の豪雨、地震そして原子力災害などさまざまな事象により、災害が「稀なこと」ではなくなりつつあります。またCOVID-19パンデミックも災害として捉え、DMATが活躍したことも記憶に新しいと思います。この講座では、災害医療における広島大学の活動の紹介とともに、次に来るべき新たな災害に向けての課題を挙げ、みなさんと共に考える機会にしたいと考えています。

会場	広島大学 霞キャンパス 放射線災害医療研修棟 4階401室
時間	19:00~20:30
定員	100名
対象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切 9/28 (木) ※定員に達しなければ1/18 (木) (必着) まで先着順で受付

新型コロナ流行・G7広島サミットにおける災害医療の応用

講師：大学院医系科学研究科 救急集中治療医学
准教授 大下 慎一郎

第1回
1/25 (木)
19:00~20:30

医療における「災害」とは、地震や津波などの自然災害だけを意味するのではなく、平常時の病院診療能力を上まわる数の傷病者が発生した状況すべてを意味します。この観点から、新型コロナウイルス感染症流行は災害と言えますし、G7広島サミットにおいてテロ行為が行われた場合も災害と言えます。本講座では、災害医療が通常の救急診療と異なる点や、地域の安全を守るために私たちが工夫していることについてお話します。

放射線災害医療体制整備はどこまで進んだか

講師：原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療開発研究分野
教授 廣橋 伸之

第2回
2/1 (木)
19:00~20:30

東日本大震災・東京電力福島第一原発事故からはや12年が経過しました。我が国の放射線災害医療体制は、「防ぎ得た災害死」を1人でも減らすべく新しい体制整備を進めています。広島大学は、高度被ばく医療支援センターおよび原子力災害医療・総合支援センターに指定され、国内外の研修指導を通して1人でも多くの放射線災害医療従事者・支援者を増やすべく活動しています。一方で、昨年来のウクライナ原発に対する攻撃は我々にとって新たな衝撃でした。本講座では、現在の放射線災害医療体制の現状と課題についてお話します。

J-SPEED - 災害時の健康データ管理**講師：大学院医系科学研究科 公衆衛生学 教授 久保 達彦****第3回****2/8 (木)****19:00~20:30**

災害発生時には無数の支援者が被災地に駆け付け、支援者は災害対策本部による指揮調整のもと連携を図りながら共同して活動します。災害医療を効率的に展開していくためには、災害医療チーム等がどこで、どのような患者を、何人診療したのかを把握することが重要です。このために我が国で開発された手法がJ-SPEEDです。本講座では、近年の災害におけるJ-SPEEDの運用実績を紹介します。

**講座内容に関する
お問い合わせ先****霞地区運営支援部総務グループ（原医研主担当） 林 昌代****電話:082-257-5802****メール:kasumi-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp**

広島大学公開講座 2023（後期）カレンダー

10月			11月			12月		
1	日		1	水		1	金	・危機に立つ民主制
2	月		2	木		2	土	・古文書から読み取る西洋史
3	火		3	金		3	日	
4	水	・合唱の喜びを分かち合おう2023 (前期開講分で受付終了)	4	土		4	月	
5	木		5	日		5	火	
6	金		6	月		6	水	
7	土		7	火		7	木	
8	日		8	水	・合唱の喜びを分かち合おう2023 (前期開講分で受付終了)	8	金	・危機に立つ民主制 ・グローバル社会・大学・地域を結ぶ
9	月		9	木		9	土	・古文書から読み取る西洋史
10	火		10	金	・危機に立つ民主制	10	日	
11	水	・合唱の喜びを分かち合おう2023 (前期開講分で受付終了)	11	土	・「循環」と生命科学: 持続的な 社会へのヒントを探る	11	月	
12	木		12	日		12	火	・イノベティブ企業家
13	金	・危機に立つ民主制	13	月		13	水	
14	土		14	火		14	木	
15	日		15	水	・合唱の喜びを分かち合おう2023 (前期開講分で受付終了)	15	金	・危機に立つ民主制
16	月		16	木		16	土	・古文書から読み取る西洋史 ・つくと食べるをつなぐサイエンス
17	火		17	金		17	日	
18	水	・合唱の喜びを分かち合おう2023 (前期開講分で受付終了)	18	土	・バイオテクノロジーってなあに？	18	月	
19	木		19	日		19	火	・イノベティブ企業家
20	金	・危機に立つ民主制	20	月		20	水	
21	土		21	火		21	木	
22	日		22	水	・合唱の喜びを分かち合おう2023 (前期開講分で受付終了)	22	金	
23	月		23	木		23	土	
24	火		24	金	・危機に立つ民主制	24	日	
25	水	・合唱の喜びを分かち合おう2023 (前期開講分で受付終了)	25	土	・仏教の世界宗教化と地域文化との交流	25	月	
26	木		26	日	・合唱の喜びを分かち合おう2023 (前期開講分で受付終了)	26	火	
27	金	・危機に立つ民主制	27	月		27	水	
28	土		28	火		28	木	
29	日		29	水		29	金	
30	月		30	木		30	土	
31	火					31	日	

1月		2月		3月		
1	月	1	木	・災害医療の現状と課題	1	金
2	火	2	金		2	土
3	水	3	土		3	日
4	木	4	日		4	月
5	金	5	月		5	火
6	土	6	火		6	水
7	日	7	水		7	木
8	月	8	木	・災害医療の現状と課題	8	金
9	火	9	金	・イノベティブ企業家	9	土
10	水	10	土		10	日
11	木	11	日		11	月
12	金	12	月		12	火
13	土	13	火		13	水
14	日	14	水		14	木
15	月	15	木		15	金
16	火	16	金		16	土
17	水	17	土		17	日
18	木	18	日		18	月
19	金	19	月		19	火
20	土	20	火		20	水
21	日	21	水		21	木
22	月	22	木		22	金
23	火	23	金	・イノベティブ企業家	23	土
24	水	24	土		24	日
25	木	25	日	・災害医療の現状と課題	25	月
26	金	26	月		26	火
27	土	27	火		27	水
28	日	28	水		28	木
29	月	29	木		29	金
30	火				30	土
31	水				31	日

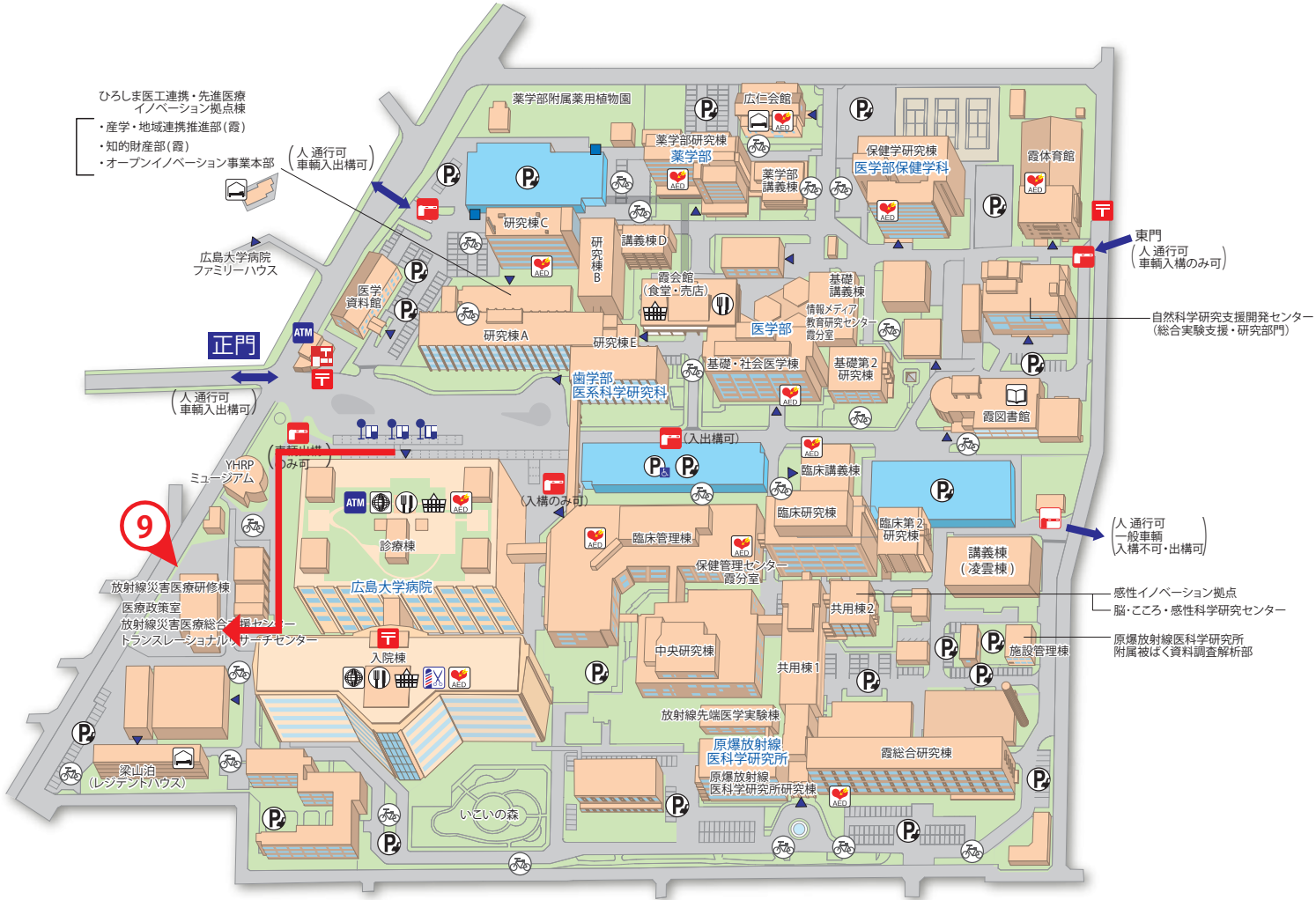
広島大学公開講座 実施場所 (東広島市)

広島大学東広島キャンパス (東広島市鏡山)



広島大学公開講座 実施場所（広島市）

広島大学霞キャンパス（広島市南区霞一丁目2番3号）



- ひろしま医工連携・先進医療
イノベーション拠点棟
- ・産学・地域連携推進部(霞)
 - ・知的財産部(霞)
 - ・オープンイノベーション事業本部

- 東門 (人通行可
車輦入構のみ可)
- 自然科学研究支援開発センター
(総合実験支援・研究部門)
- 人通行可
一般車輦
入構不可・出構可)
- 感性イノベーション拠点
脳・こころ・感性科学研究センター
- 原爆放射線医科学研究所
附属被ばく資料調査解析部

広島大学公開講座 実施場所（広島市）

東千田キャンパス

広島大学東千田未来創生センター
〒730-0053
広島市中区東千田町一丁目1番89号



広島市内地図



東千田キャンパス配置図

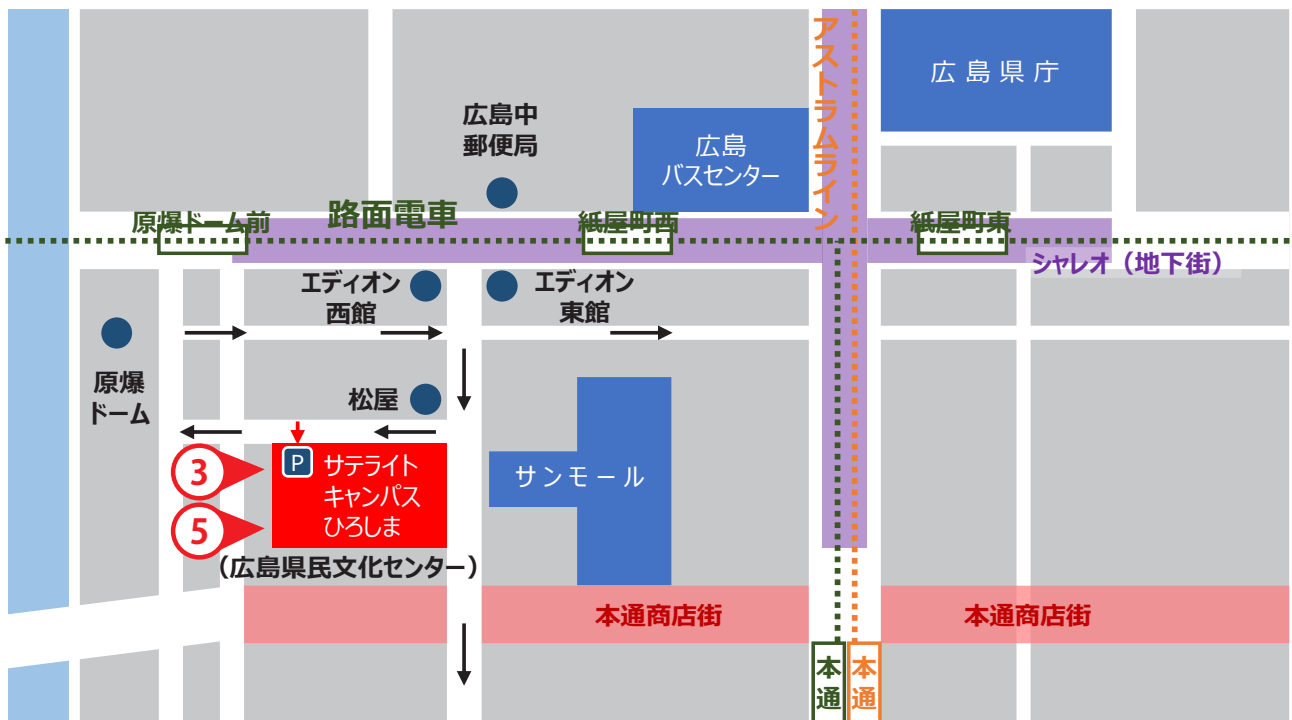
主な交通アクセス

[JR 広島駅から]

- 市内電車…広島電鉄1号線、紙屋町経由広島港行で約30分、日赤病院前下車、徒歩約3分
- バス…広島バス21-1号(宇品線)、紙屋町経由広島港行で約20分、日赤前下車、徒歩約3分
広島バス50号(東西線)、アルパーク方面行で約12分、日赤前下車、徒歩約3分

広島大学公開講座 実施場所（広島市）

サテライトキャンパスひろしま



サテライトキャンパスひろしま
 (広島県民文化センター 5階)
 〒730-0051 広島市中区大手町1丁目5-3
 TEL:082-258-3131 FAX:082-258-3010

- エディオン本館から南へ約100m
- 広島県民文化センター 地下駐車場
 - ・ 収容台数 31台
 - ・ 営業時間 7:00~22:00
 - ・ 駐車料金 【7:00~22:00の間】
30分 180円
【22:00~翌7:00】
夜間一泊 1,100円
(夜間の入出庫はできません)
- ※ 高さ2.20m×幅2.50m×長さ5.5mまでの車両の駐車が可能です。
- ※ 広島県民文化センター周辺は一方通行が多くありますので、ご注意ください。

- 交通のご案内
- 【JR広島駅から】
 - 路面電車で約20分、バスで15分、車で15分
 - 路面電車（広島電鉄）
 - ◆広島港行
→「本通」下車，徒歩約5分
 - ◆西広島行，江波行，宮島行
→「紙屋町西」下車，徒歩約3分
- 【広島バスセンターから】
 - 徒歩 約3分
- 【広島空港から】
 - リムジンバス（広島バスセンター行） 約60分
- 【広島港から】
 - 路面電車で約30分，バスで30分，車で20分
 - 路面電車（広島電鉄）
 - ◆広島駅行き（1号線）
→「本通」駅下車，徒歩約5分
 - ◆西広島行き（3号線）
→「本通」駅下車，徒歩約5分
 - バス
 - ◆広島バス21号線 広島駅，向洋大原，洋光台団地行
→「本通り」下車，徒歩5分
- 【アストラムライン本通駅から】
 - 徒歩 約5分



広島大学 学術・社会連携室 公開講座担当

〒739-8511 東広島市鏡山1-3-2

E-mail : chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp

Webサイト : <https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/ccc/kokaikoza>